

2020年 12月 28日

第13回 データベースシステム レポート

1108190116 小森 一輝

13-3の手順（第二正規型）

まず、主キーを **企業番号**, **支店番号** に設定し、非キー属性を **支店住所**, **支店情報**, **都道府県番号**, **都道府県名** とする関係表 **r21** を作成した。

また、**r21** 内の **企業番号**, **支店番号** について、外部キーを後に示す **r22** 内の **企業番号**, **r23** 内の **支店番号** とする。

次に、主キーを **企業番号**, 非キー属性を **企業名**, **資本金**, **証券コード**, **成長度**, **総合順位**, **平均年収**, **社員数**, **本社所在地**, **本社電話番号**, **代表者名** とする関係表 **r22** を作成した。

最後に、主キーを **支店番号**, 非キー属性を **支店名** とする関係表 **r23** を作成した。

13-4の手順（第三正規型）

手順 13-3 内で導かれた、関係表 **r21** 内に、推移的関数従属性があるため、取り除く作業を行った。

すると、主キーを **企業番号**, **支店番号** に設定し、非キー属性を **支店住所**, **支店情報**, **都道府県番号** とする関係表 **r31** が導かれた。

また、**r31** の **企業番号**, **支店番号**, **都道府県番号** それぞれについて、外部キー制約を後に示す **r32** 内の **都道府県番号**, **r33** 内の **企業番号**, **r34** 内の **支店番号** に設定する。

さらに、主キーを **都道府県番号** とし、非キー属性を **都道府県名** とする関係表 **r32** が作成される。

第二正規型より、**r22** を **r33** へ、**r23** を **r34** に定義することで、第三正規型が導かれる。